

古釜布 ~ふるかまづぶ~

【地区文化会館】

映画館、図書館、体育館があり、定期的にコンサートが行われる。また、日本人と国後島在住ロシア人との住民交流会会場として使われる。



【郷土博物館】

島の自然・歴史を豊富な展示で紹介している。



埠頭に新しく建った食料品店。



【ソーニシコ幼稚園】

2018年3月開園。定員150名。遊戯室、食堂、保健室、温水プール、温室等が備わる。



【消防署】 2011年、古釜布の高台に津波の可能性を配慮し、海岸から離れた場所に建設された。



【正教会】

正式名は至聖三者教会。鐘は携帯電話の遠隔操作で鳴らせる。



【学校】

11年制小中高一貫校。7歳で入学、初等科4年、中等科5年、高等科2年を修了すると大学受験資格が与えられる。新学期は9月から始まり4学期制。



【商店街】

教会から学校にいたる道筋に商店が軒を連ねる。靴や衣料等の専門店もあるが、多くは食料品を中心とした雑貨店。



【スポーツ施設アファリーナ】

2017年1月にオープンしたスポーツ施設。競泳プールやトレーニングルームなどがある。



【友好の家】

緊急避難所兼宿泊施設。1999年に北方四島住民支援として設置された。



【南クリル地区行政府】

建物前には広場やサッカー場があり、市民の憩いの場となっている。



～国後島豆知識～

古釜布…国後島の中心地。

人口7,777人(2018年)

医療…古釜布には「地区中央病院」があるが、都市と地方で医療格差があり、慢性的に医師が不足している。島に移住する医師に対して住宅の無償提供、一時金の支給などを行って誘致が行われている。日本からの人道支援で超音波診断装置が設置された。

新聞…「ナ・ルベジェ(国境にて)」という「地区」の機関紙があり、週2回新聞を発行している。